



2007 年 9 月 18 日

報道関係各位



**“相場水準の予想”を投資に生かす！  
高度な投資戦略をカバード・ワラントで実現  
「ニアピン e ワラント」に今度は米ドル相場追加  
10月15日(月)より取り扱い開始**

ゴールドマン・サックス証券株式会社(社長:持田昌典、所在地:東京都港区;以下「ゴールドマン・サックス証券」)は、2007 年 10 月 15 日(月)より、「米ドルニアピン e ワラント」の取り扱いを開始します\*。

\*ご注意:e ワラント及びニアピン e ワラントは、取扱証券会社がお客様のご注文を承り、マーケット・メイクはゴールドマン・サックス・インターナショナルが行います。ゴールドマン・サックス証券は、お客様と直接に該当する e ワラントの売買取引その他の金融商品取引法の規制を受ける業務は行いません。

今年の 5 月 14 日より取引が開始された新商品ニアピン e ワラントに、今回は米ドル相場(米ドルリンク債)を対象とする銘柄が追加されます。ニアピン e ワラントとは、今まで熟練した投資家だけのものと考えられていた投資戦略をカバード・ワラントにパッケージ化した金融商品です。「高度な投資手法がよくわからない」「より高度な投資をしたいが勉強することが多くて楽しくない」という方から投資経験豊富な方まで、幅広い層の個人投資家に新たな投資機会を提供することを目的としてゴールドマン・サックスによって開発されました。既存の日経平均株価を対象にした銘柄に加えて、今回米ドルニアピン e ワラントが加わることで、米ドル相場でも同様の投資戦略をとることが可能になります。

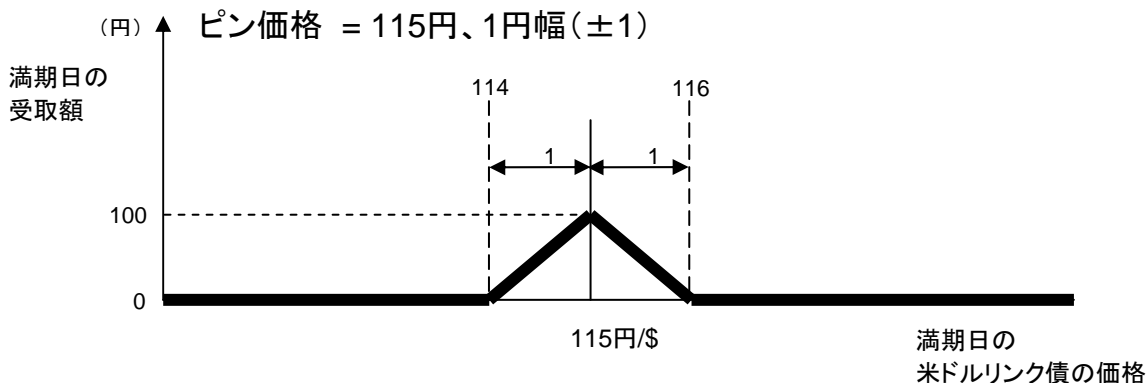
**高度な投資法を分かりやすい仕組みで提供**

米ドルニアピン e ワラントによって、個人投資家が容易に利用できる投資戦略は“ロングバタフライ”といわれる高度なオプション投資戦略です。この戦略は、主に特定の価格帯に相場が収まる、あるいは値動きが少ないといった相場環境から収益を得ることを目的として利用されます。通貨(為替)オプションをいくつか組み合わせて投資すれば似たようなポジションをとることが可能ですが、個人投資家がそのような運用を行うことは一般に容易ではないと考えられます。一方米ドルニアピン e ワラントであれば、ポジションそのものがパッケージ化されているため、米ドルニアピン e ワラントを売買するだけでロングバタフライ戦略をとることが可能となります。

今回発行されるニアピン e ワラントの投資対象は、円/米ドル相場にリンクするよう設計された米ドルリンク債です。相場が上がるか下がるかを考えるのではなく、一定期間後にどの程度の価格になっているかという相場観に基づいて投資します。具体的には、予想価格に近い“ピン価格”のニアピン e ワラントを購入し、近ければ近いほど受け取り金額が多いという仕組みです。1-2 カ月後の所定の日(満期日)に米ドルリンク債

の価格が“ピン価格”と一致すれば 1 ワラントあたり 100 円(最小投資単位の 1000 ワラントで 10 万円)受け取ることができ、一致しなくても差がプラスマイナス 1 円未満なら部分的に受け取りが発生します(米ドルニアピン e ワラントの“ピン価格”は 1 円間隔で設定されます)。つまり、円/米ドル相場を対象にゴルフでいう“ニアピン”を狙うような金融商品です。このように、従来は高度なものと考えられていた投資法が、ニアピン e ワラントを使えば、個人投資家も容易に実現できるようになります。

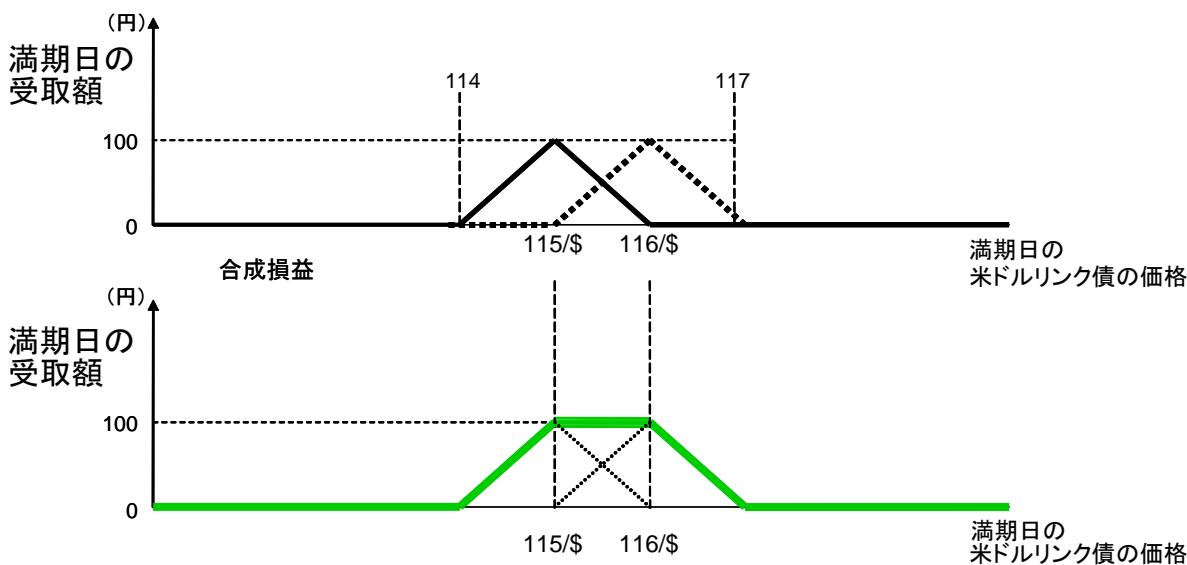
(満期時の受取金額イメージ図、1 ワラント当たり)



例えば 115 円のピン価格をもつ米ドルニアピン e ワラントの場合、満期日の米ドルリンク債が 115 円であれば 1 ワラントあたり 100 円(最小投資単位の 1000 ワラントで 10 万円)受け取ることができます。満期日の米ドルリンク債が 30 銭予想価格から離れて 115.30 円なら 1 ワラントあたり 70 円(1000 ワラントで 70,000 円)、50 銭予想価格から離れて 115.50 円なら 50 円(1000 ワラントで 50,000 円)の受け取りになります。1 円以上予想価格から離れてしまうと、受け取り金額はありません(投資金額全額が損失になります)。

### 組み合わせで更に高度な投資戦略も容易に実行できる

米ドルニアピン e ワラントを 1 銘柄だけ購入した場合は、満期日に満額の 100 円(1,000 ワラントで 10 万円)受け取ることができるのはピン価格の 1 点だけです。ところが、連続して隣り合う米ドルニアピン e ワラントを購入すれば、満期日の 2 つの米ドルニアピン e ワラントの受取金額を合わせると、隣り合うピン価格の間(1 円の価格帯)ではどこでも 100 円受け取ることができます。これはロングコンドルと呼ばれる投資戦略で、一定の範囲内に相場が収まるだろうという相場観に基づいた投資法です。



隣り合ったニアピン e ワラントを購入すると、満期時に 100 円受取ることができる範囲が点から線のレンジに広がる。ただし、購入代金が増えることに注意が必要。

## 夜でも取引できる

ニアピン e ワラントの取引時間は 9:00 から 23:50 まで(取引停止時を除く、また満期日の前日は 9:00-15:00 の買い取りのみ)。日中は忙しくて時間がない方も、夜ならじっくり投資戦略を練ることができるでしょう。さらに、途中で損益を確定したくなったり、相場観が変わったりしたら、途中で売却することもできます。まさに、ゴールドマン・サックスの最新の金融テクノロジーによって生まれた商品を、オンライン専業証券大手 4 社でオンライン取引専用商品として提供できることによるメリットです。

## 取扱証券会社

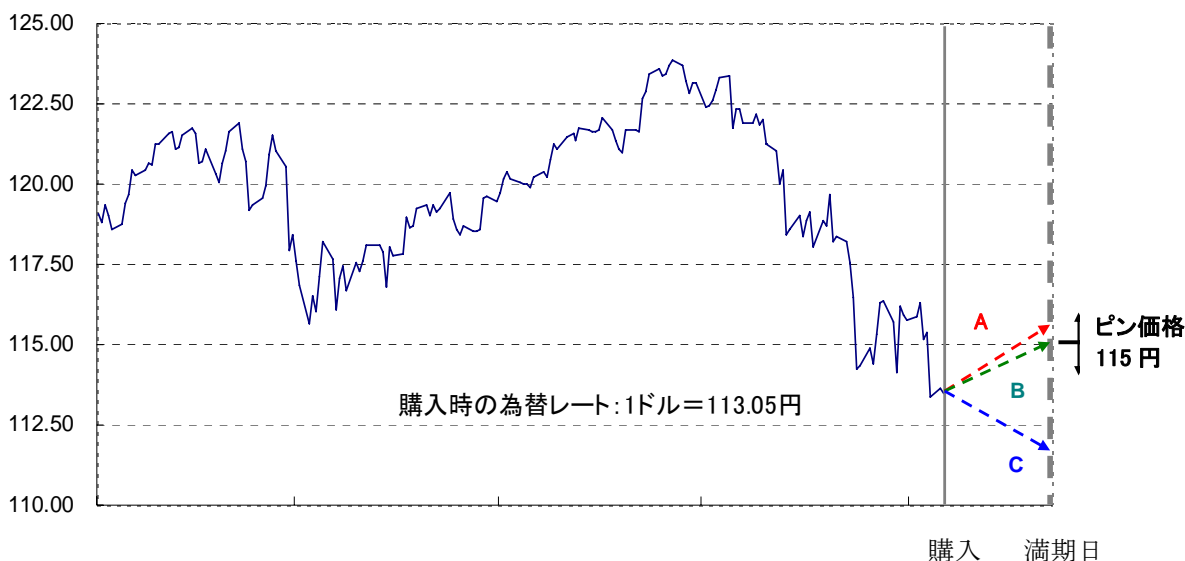
SBIイー・トレード証券、松井証券、楽天証券(50音順)では10月15日(月)より、カブドットコム証券でも後日取り扱いを開始する予定です。

## 「米ドルニアピン e ワラント」の投資例

仮に、購入時の米ドルリンク債が 113.05 円、満期まで 30 日あるとします。

30 日後の満期日に米ドルリンク債が 115 円前後になると予測し、ピン価格 115 円の米ドルニアピン e ワラントを 15 円で 1,000 ワラント購入した場合(購入代金計 15,000 円、手数料別)

(例)



(イメージ図、データ出所:ロイター)

ケース A: 満期日の米ドルリンク債が 115.50 円(ピン価格から 50 銭離れている)

受取金は 50 円 = 100 円 - 100 × (115.50 - 115.00) - 投資金額の約 3.3 倍

ケース B: 満期日の米ドルリンク債が 115.00 円(ピン価格と一致)

受取金は 100 円 --- 投資金額の約 6.7 倍

ケース C: 満期日の米ドルリンク債が 112 円(ピン価格から 1 円以上離れている)

受取金はなし --- 投資金額全額が損失

\*上記はあくまでも過去の値動きであり、必ずしも予想したとおりの将来の結果を保証するものではなく、何らかの行動を勧誘するものではありません。最終的な投資の判断は、ご自身の責任で行ってください。

## 銘柄一覧

米ドルニアピン e ワラントは、毎月満期日が設定され、各満期日に対して 20 銘柄のニアピン e ワラントが発行されます。今回発行される米ドルニアピン e ワラントは、以下の 40 銘柄です(11 月満期 20 銘柄、12 月満期 20 銘柄)。

銘柄名	タイプ	ピン価格	ピン価格 - 1 円	ピン価格 + 1 円	満期日	満期日の 最大決済金額
ニアピン米ドル 1 回	ニアピン型	106 円/\$	105 円/\$	107 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 2 回	ニアピン型	107 円/\$	106 円/\$	108 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 3 回	ニアピン型	108 円/\$	107 円/\$	109 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 4 回	ニアピン型	109 円/\$	108 円/\$	110 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 5 回	ニアピン型	110 円/\$	109 円/\$	111 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 6 回	ニアピン型	111 円/\$	110 円/\$	112 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 7 回	ニアピン型	112 円/\$	111 円/\$	113 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 8 回	ニアピン型	113 円/\$	112 円/\$	114 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 9 回	ニアピン型	114 円/\$	113 円/\$	115 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 10 回	ニアピン型	115 円/\$	114 円/\$	116 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 11 回	ニアピン型	116 円/\$	115 円/\$	117 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 12 回	ニアピン型	117 円/\$	116 円/\$	118 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 13 回	ニアピン型	118 円/\$	117 円/\$	119 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 14 回	ニアピン型	119 円/\$	118 円/\$	120 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 15 回	ニアピン型	120 円/\$	119 円/\$	121 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 16 回	ニアピン型	121 円/\$	120 円/\$	122 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 17 回	ニアピン型	122 円/\$	121 円/\$	123 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 18 回	ニアピン型	123 円/\$	122 円/\$	124 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 19 回	ニアピン型	124 円/\$	123 円/\$	125 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 20 回	ニアピン型	125 円/\$	124 円/\$	126 円/\$	2007 年 11 月 14 日	100 円
ニアピン米ドル 21 回	ニアピン型	106 円/\$	105 円/\$	107 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 22 回	ニアピン型	107 円/\$	106 円/\$	108 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 23 回	ニアピン型	108 円/\$	107 円/\$	109 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 24 回	ニアピン型	109 円/\$	108 円/\$	110 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 25 回	ニアピン型	110 円/\$	109 円/\$	111 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 26 回	ニアピン型	111 円/\$	110 円/\$	112 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 27 回	ニアピン型	112 円/\$	111 円/\$	113 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 28 回	ニアピン型	113 円/\$	112 円/\$	114 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 29 回	ニアピン型	114 円/\$	113 円/\$	115 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 30 回	ニアピン型	115 円/\$	114 円/\$	116 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 31 回	ニアピン型	116 円/\$	115 円/\$	117 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 32 回	ニアピン型	117 円/\$	116 円/\$	118 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 33 回	ニアピン型	118 円/\$	117 円/\$	119 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 34 回	ニアピン型	119 円/\$	118 円/\$	120 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 35 回	ニアピン型	120 円/\$	119 円/\$	121 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 36 回	ニアピン型	121 円/\$	120 円/\$	122 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 37 回	ニアピン型	122 円/\$	121 円/\$	123 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円

e ワラント及びニアピン e ワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及びリスクに関する説明を必ずお読みください <http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

ニアピン米ドル 38 回	ニアピン型	123 円/\$	122 円/\$	124 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 39 回	ニアピン型	124 円/\$	123 円/\$	125 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円
ニアピン米ドル 40 回	ニアピン型	125 円/\$	124 円/\$	126 円/\$	2007 年 12 月 19 日	100 円

## ニアピン e ワラントの概要

- ・ 対象原資産：日経平均株価、米ドルリンク債(円／米ドル相場にリンクするよう設計された債券)
- ・ 満期：発行時から1ヶ月-2ヶ月程度
- ・ 最低必要資金：数万円程度(1 ワラント当たり数円から数十円程度)
- ・ 取引単位：1,000 ワラント単位
- ・ 取引価格：ゴールドマン・サックス・インターナショナルが売値・買値を決定
- ・ 取引決済：取引日の3営業日後(通常の株式の決済と同様)
- ・ 配当金等：配当金、株主優待無し(ただし満期日までの予想受取配当金は予め購入金額の計算に織り込まれています)
- ・ ニアピン e ワラントに関する注意
  - ニアピン e ワラントの最大受取可能額は、1 ワラント当たり 100 円に設定されており、この点においてコール型及びプット型ワラントとは異なります。
  - 同一の満期日を持つニアピン e ワラントを複数保有することによって、一般に満期日に受け取る金額の期待値は上昇しますが、期待リターンは低下します。また、同一満期日を持つ全ての種類のニアピン e ワラントを購入しても、一般に投資金額の全てを回収することはできない可能性があります。これは、対象原資産の変動可能範囲をすべてカバーしているわけではないことに加え、ニアピン e ワラントの売値と買値の差や、売買手数料、税金等のコストを考慮する必要があるためです。
  - ニアピン e ワラントのデルタはコール型あるいはプット型の e ワラントとは異なり、正の値も負の値も取りえます。また、一般に、デルタの変化が大きく、例えば対象原資産の価格が大きく動いた場合には、実効ギアリングから想定される以上の値動きとなる可能性があることに注意が必要です。
  - ニアピン e ワラントの最終販売日は e ワラントとは異なり、満期日の2営業日前までです。また、満期日の前営業日は 15 時まで買い取りのみが行われ、それ以降には取引ができないことに特に注意が必要です。
  - ニアピン e ワラントの価格は、同日中においても時間経過の影響を大きく受ける場合があり、またその価格への影響の程度は諸条件によって異なり一様ではありません。
- ・ 従来の e ワラントと共通のリスク
  - 価格変動リスク：一般に対象原資産に比較して価格変動リスクが高く、損失の可能性が極めて高いものになっています。
  - 信用リスク：発行者のゴールドマン・サックス・インターナショナル及び保証者のザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクが破綻などの事態に陥った場合には、権利の一部または全部が支払われないことがあります。
  - 取引停止リスク：システムに異常が生じた場合や、対象株式の売買が停止している場合、その他ゴールドマン・サックス・インターナショナルがマーケット・メイクを行わない場合などには、取引ができません。

e ワラント及びニアピン e ワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及びリスクに関する説明を必ずお読みください <http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

- 税務リスク：総合課税となります。また、将来税制が投資家に有利、又は不利に変更される可能性があります。
- 決済リスク：事務手続きのトラブル、決済機関のトラブル等により、購入代金の払い込み、売却代金の受取りに支障をきたす可能性があります。
- ミストレード：「カバード・ワラントのミストレードに関する規定」で定める内容に従い、取扱証券会社から投資家にミストレードの通知がなされた場合には、本規定の手続きにしたがって当該ミストレードは取り消されます。

詳細につきましては、最新の「外国証券内容説明書」にて必ずご確認ください。

#### ゴールドマン・サックス証券について

ゴールドマン・サックス証券株式会社は、ニューヨーク証券取引所上場の世界最大手の投資銀行、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社です。1974年に東京駐在員事務所開設、1986年に外国証券会社として初めて東京証券取引所の正会員となりました。投資銀行かつ証券会社の機能を有し日本の企業、金融機関、政府機関、個人顧客に対して、幅広い金融サービスを提供しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

**ゴールドマン・サックス証券株式会社 コーポレート・コミュニケーションズ**

TEL:03-6437-1648

FAX:03-6437-1646

URL <http://www.ewarrant.co.jp>